

# 読み方レスキュー

グレード III

# 6つの テク チェックシート

名前 \_\_\_\_\_ 年 組 番 \_\_\_\_\_

1 各回の得点を記入しよう。

- 🔄 言い換えテク
- 🔍 サーチテク
- ⊕ まとめテク
- ❓ 質問テク
- 📄 展開注目テク
- 🖼️ イメージテク

	1	2	3	4	リア読 ①	5	6	7	リア読 ②	リア読 ③	8	9	10	11	12	リア読 ④	13	14	15	16	リア読 ⑤	17	18	19	20	リア読 ⑥	21	22	23	リア読 ⑦	リア読 ⑧
得点																															
合計					/					/					/					/					/					/	
					21					23					44					15					19					18	

2 <sup>がいたう</sup> 該当するテクのマスを、合計点の数だけぬりつぶそう。

- 🔄 言い換えテク: \_\_\_\_\_
- 🔍 サーチテク: \_\_\_\_\_
- ⊕ まとめテク: \_\_\_\_\_
- ❓ 質問テク: \_\_\_\_\_
- 📄 展開注目テク: \_\_\_\_\_
- 🖼️ イメージテク: \_\_\_\_\_



得意・不得意を知って  
ふだんの学習にいかそう!



# テク活用のすすめ

7つの力  
がつく

×

6つのテク  
を使う

『グレードⅠ・Ⅱ』で培った「7つの力」は、「一つ一つの文を正しく読み取るのに必須の力」。一方、『グレードⅢ』で学んだ「6つのテク」は、文と文がまとまってできた長い文章を読み解く際に役立つワザだといえます。

ですから「正しく読む」とは、「7つの力」と「6つのテク」の両方を上手に組み合わせる読むことなのです。

ここでは、「文章が読めない・わからない」にまつわる6つのお悩みを取り上げ、**おすすめのテクを紹介**します。また、テクを使う際のいわば**基礎体力**ともなる「7つの力」のうち、各テクにとりわけ関係が深いと思われる力を▼▼▼で示しました。「7つの力」と「6つのテク」の相乗効果で、「読む力」を伸ばしましょう。



**お悩み①**  
難しい言葉が多くて  
内容が入ってこない…

言い換え  
テク



自分の知っている別の言葉に置きかえながら読むことで、内容がぐっと頭に入りやすくなるよ。

▼▼▼  
文

**お悩み②**  
何がどこに書いてあったのか  
覚えていない…

サーチ  
テク



「問いかけに対する答え」など、何を探すかを明確にして読もう。重要な箇所がくっきり見えるよ。

▼▼▼  
情

**お悩み③**  
複雑な文章を読んでいると  
頭がこんがらがっちゃう…

まとめ  
テク



段落や意味のまとめりに内容をメモしたり、図表を書いたりすると頭の中が整理されるよ。

▼▼▼  
関  
図

**お悩み④**  
「読めたー」と思ったのに  
問題になると答えられない…

質問  
テク



「わかったつもり」状態を防ぐため、ときどき読むのを中断して確認の質問を自分にとってみよう。

▼▼▼  
文  
推

**お悩み⑤**  
一つ一つの文は読めるけど  
全体で何が言いたいかわからない…

展開注目  
テク



「さっきはあの話」「今はこの話」「すると次は…」と、大まかな流れをとらえる視点をもとつ。

▼▼▼  
接  
推

**お悩み⑥**  
自分には関係ない気がして  
読んでもピンとこない…

イメージ  
テク



今までに見たことや聞いたことに当てはめながら、「自分のこと」として文章を読む意識をもとつ。

▼▼▼  
具  
図

※「7つの力」のアドバイスは、『グレードⅠ・Ⅱ』チェックシート裏面をご覧ください。

# テクのおすすめ 練習法4選

ここでは「グレードⅢ」で学んだ「6つのテク」を、  
ふだんの学習の中で練習する方法を紹介します。

『グレードⅢ』の復習に！  
説明的文章の導入に！



## 1 説明 ⇄ 質問法

- 二人組をつくり、説明役と質問役に分かれる。
- 説明役は、文章の内容を自分の言葉に言い換えながら、質問役に説明する。
- 質問役は、疑問を感じたり、わかりにくいと思ったりした部分について、説明役に質問をする。
- 説明役と質問役を交代してくりかえす。

### POINT

- 説明役は、「伝わっているかな？」と自問することも忘れずに。
- 質問役は、遠慮せずに質問しよう。

## 2 要約練習法

- 次の手順に沿って、読んだ文章の要約を作成する。
  - 文章を意味のまとまりから、いくつかに分ける。
  - 各まとまりの中でもっとも伝えたい箇所をさがす。
  - ②の文を意味の通るように整理してまとめる。
- 要約が書けたら、友達同士でチェックし合うのも○。  
余計な部分や、逆に不足している部分を指摘し合う。

### POINT

- 教科書や『読み方レスキュー グレードⅢ』に掲載されている文章を使って練習しよう。

## 3 もくじ作成法

- 次の手順に沿って、文章の「もくじ」を作成する。
  - 形式段落ごとに内容を一言でまとめる。
  - いくつかの形式段落をまとめて、意味段落に分ける。
  - 意味段落の内容を一言でまとめ、順に並べる。
- (1)で作成したもくじを参考に、全体像を意識しながらもう一度文章をはじめから読み通す。

### POINT

- 教科書に掲載されている文章を使うのも○。
- 自分で本を読む際にも、どんな内容が展開されるのかもくじから予測してみるといいよ。

## 4 イメージ伝達法

- 二人組をつくり、伝達役と聞き役に分かれる。
- 伝達役は、ある図形や絵を言葉だけで聞き役に伝える。
- 聞き役は、伝達役の説明に従って図形を紙に描く。
- 書き終わったら答え合わせをして、どこの説明が伝わらなかったのか、お互いに確認し合う。
- 伝達役と聞き役を交代してくりかえす。

### POINT

- 聞き役には図形を見せてはいけないよ。
- (3)で、聞き役が質問できると「質問テク」の練習にもなるね。